

平成 29 年 7 月 21 日

九州地方整備局

スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の箇所を決定 ～九州管内で初めて、^{あじさか}味坂スマートインターチェンジ(仮称)が、 準備段階調査の実施箇所に決定～

高速道路の有効利用や地域経済の活性化等の効果が期待されるスマートインターチェンジ※¹について、九州管内では初めて、準備段階調査の実施箇所として、^{あじさか}味坂スマートインターチェンジ(仮称)※²が決定されました。

なお、本日付けで、全国で 9 箇所を新規事業化し、新たに 9 箇所準備段階調査を実施することになりました。

※¹ スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専ら ETC を搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※² スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

○九州管内の準備段階調査箇所

- ・ 名称(仮称)：^{あじさか}味坂スマートインターチェンジ
- ・ 検討位置：福岡県小郡市、佐賀県鳥栖市
- ・ 路線名：九州縦貫自動車道鹿児島線宮崎線(鳥栖 JCT～久留米 IC 間)

○準備段階調査について

スマートインターチェンジの準備段階(地方での計画検討・調整段階)において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。

これにより、スマートインターチェンジの地方での計画的かつ効率的な準備・検討の推進を図ることとしています。

【添付資料】

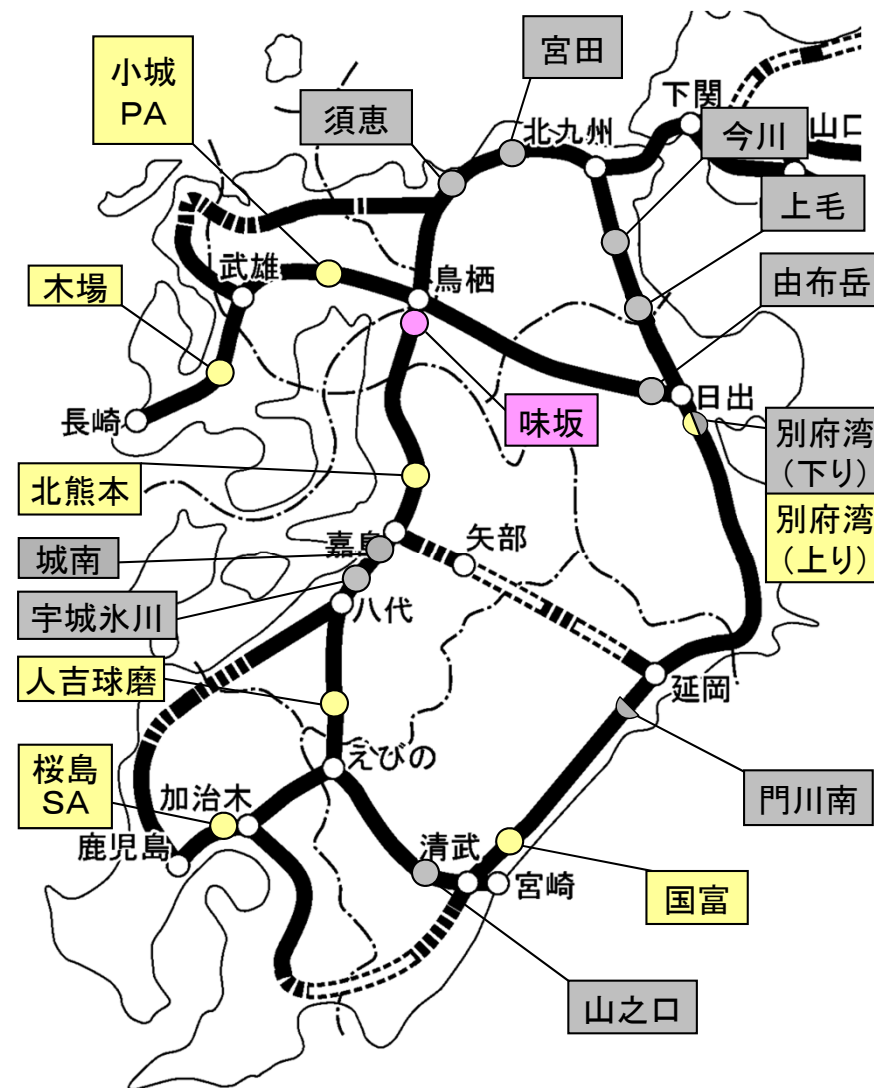
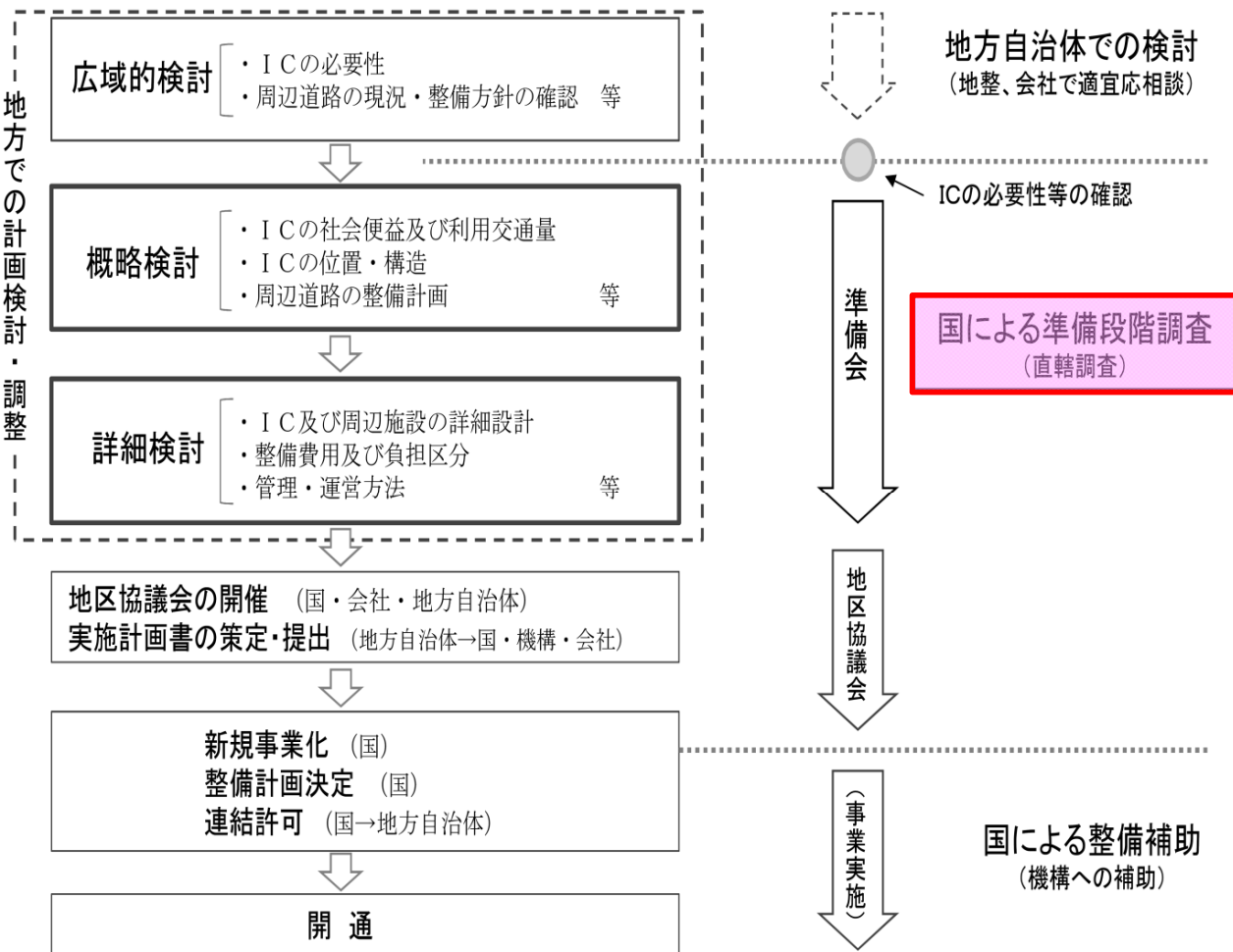
- ・ 別添 1 スマート IC の進め方／九州のスマート IC 箇所図
- ・ 別添 2 本省記者発表資料「スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の箇所を決定」

【問い合わせ先】

九州地方整備局 〔代表〕 092-471-6331 〔直通〕 TEL 092-476-3543
企画部広域計画課 課長 鈴木 昭人(内線 3 2 1 1)
課長補佐 伊藤 浩和(内線 3 2 1 2)

スマートインターチェンジの進め方

- スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



【凡例】		
	開通済	10箇所
	事業中	7箇所
	準備段階調査	1箇所
（平成29年7月21日時点）		

平成29年7月21日
道路局 高速道路課

スマートインターチェンジの新規事業化、準備段階調査の箇所を決定 ～高速道路の有効利用や地域経済の活性化に向けて～

国土交通省は、産業振興や物流の効率化等の効果が期待されるスマートインターチェンジについて、本日付で9箇所を新規事業化しました。また、新たに9箇所で開催段階調査を実施します。

○スマートインターチェンジの整備により期待される効果

- ・周辺の産業拠点から高速道路へのアクセス向上による、産業振興・物流の効率化 等
- ・隣接するインターチェンジや一般道路へ集中する交通の分散による、周辺道路の交通状況の改善 等

○準備段階調査について

スマートインターチェンジの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、国が調査を実施する「準備段階調査」を実施します。

これにより、スマートインターチェンジの地方での計画的かつ効率的な準備・検討の推進が図られることが期待されます。

- 別添①: スマートインターチェンジ新規事業化箇所一覧表
- 別添②: スマートインターチェンジ新規事業化箇所図
- 別添③: スマートインターチェンジ準備段階調査箇所一覧表
- 別添④: スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図
- 別添⑤: スマートインターチェンジの検討・整備について
- 別添⑥: スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果

〔お問い合わせ先〕

国土交通省 道路局 高速道路課 柴田・金清

〔代表〕 TEL 03-5253-8111（内線38362、38353）

〔直通〕 TEL 03-5253-8500、FAX 03-5253-1619

スマートインターチェンジ※1新規事業化箇所 一覧表

別添①

(単位:百万円)

スマートインターチェンジの名称(仮称)※2	連結位置	路線名	H29事業費※3	接続形式
すこう菅生	宮城県柴田郡村田町	東北縦貫自動車道弘前線(村田IC～仙台南IC間)	6	SA・PA接続型
つくば	茨城県つくば市	一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(常総IC～つくば中央IC間)	6	本線直結型
いずるはら出流原PA	栃木県佐野市	北関東自動車道(佐野田沼IC～足利IC間)	6	SA・PA接続型
かんら甘楽PA	群馬県甘楽郡甘楽町	関越自動車道上越線(吉井IC～富岡IC間)	6	SA・PA接続型
かりや刈谷	愛知県刈谷市	第二東海自動車道横浜名古屋線(豊田南IC～豊明IC間)	6	SA・PA接続型
みさか神坂	岐阜県中津川市	中央自動車道西宮線(園原IC～中津川IC間)	6	SA・PA接続型
じょうよう城陽	京都府城陽市	近畿自動車道名古屋神戸線(宇治田原IC(仮称)～城陽IC間)	6	本線直結型
かも加茂BS	島根県雲南市	中国横断自動車道尾道松江線(三刀屋木次IC～宍道IC間)	6	本線直結型
きかいできた坂出北	香川県坂出市	一般国道30号(本州四国連絡道路)(児島IC～坂出IC間)	6	本線直結型

※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

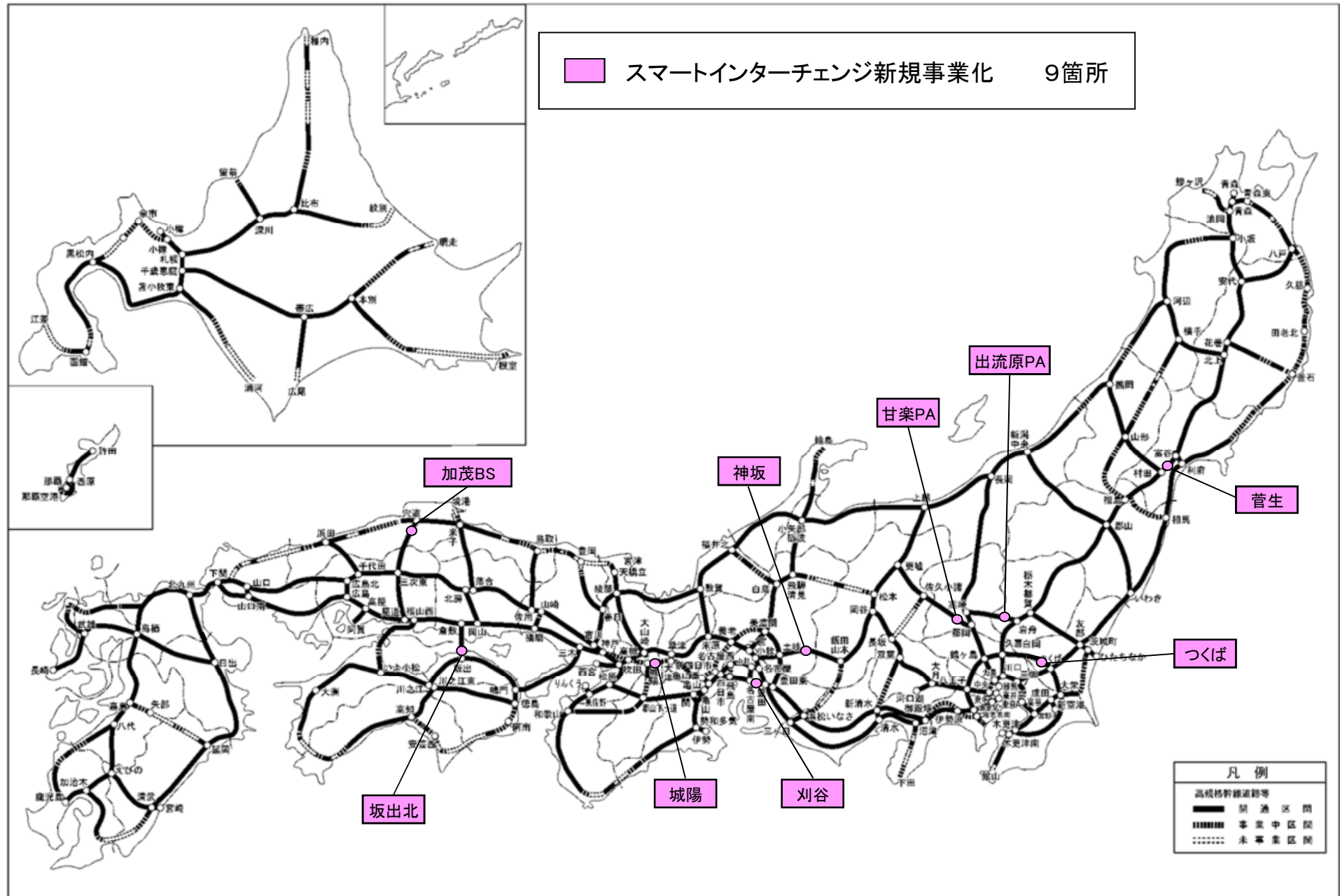
※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※3 事業費は高速道路機構への補助対象分であり、地方が整備する高速道路の区域から既設の一般道路までの道路などは含みません。

スマートインターチェンジ新規事業化箇所図

別添②

スマートインターチェンジ新規事業化 9箇所



スマートインターチェンジ※1新規準備段階調査箇所 一覧表

別添③

スマートインターチェンジの名称(仮称)※2	検討位置	路線名※3
わかほ 若穂	長野県長野市	関越自動車道上越線(長野IC～須坂長野東IC間)
つくばみらい	茨城県つくばみらい市	常磐自動車道(谷和原IC～谷田部IC間)
しもつけ 下野	栃木県下野市	北関東自動車道(壬生IC～宇都宮上三川IC間)
はすだ 蓮田(フル化)	埼玉県蓮田市	東北縦貫自動車道弘前線(岩槻IC～久喜IC間)
じょうはな 城端SA	富山県南砺市	東海北陸自動車道(五箇山IC～福光IC間)
おかざき あちわ 岡崎阿知和	愛知県岡崎市	第一東海自動車道(岡崎IC～豊田東IC間)
とうごう 東郷	愛知県日進市	第一東海自動車道(東名三好IC～名古屋IC間)
みき 三木	兵庫県三木市	山陽自動車道(三木東IC～三木小野IC間)
あじさか 味坂	福岡県小郡市、佐賀県鳥栖市	九州縦貫自動車道鹿児島線宮崎線(鳥栖JCT～久留米IC間)

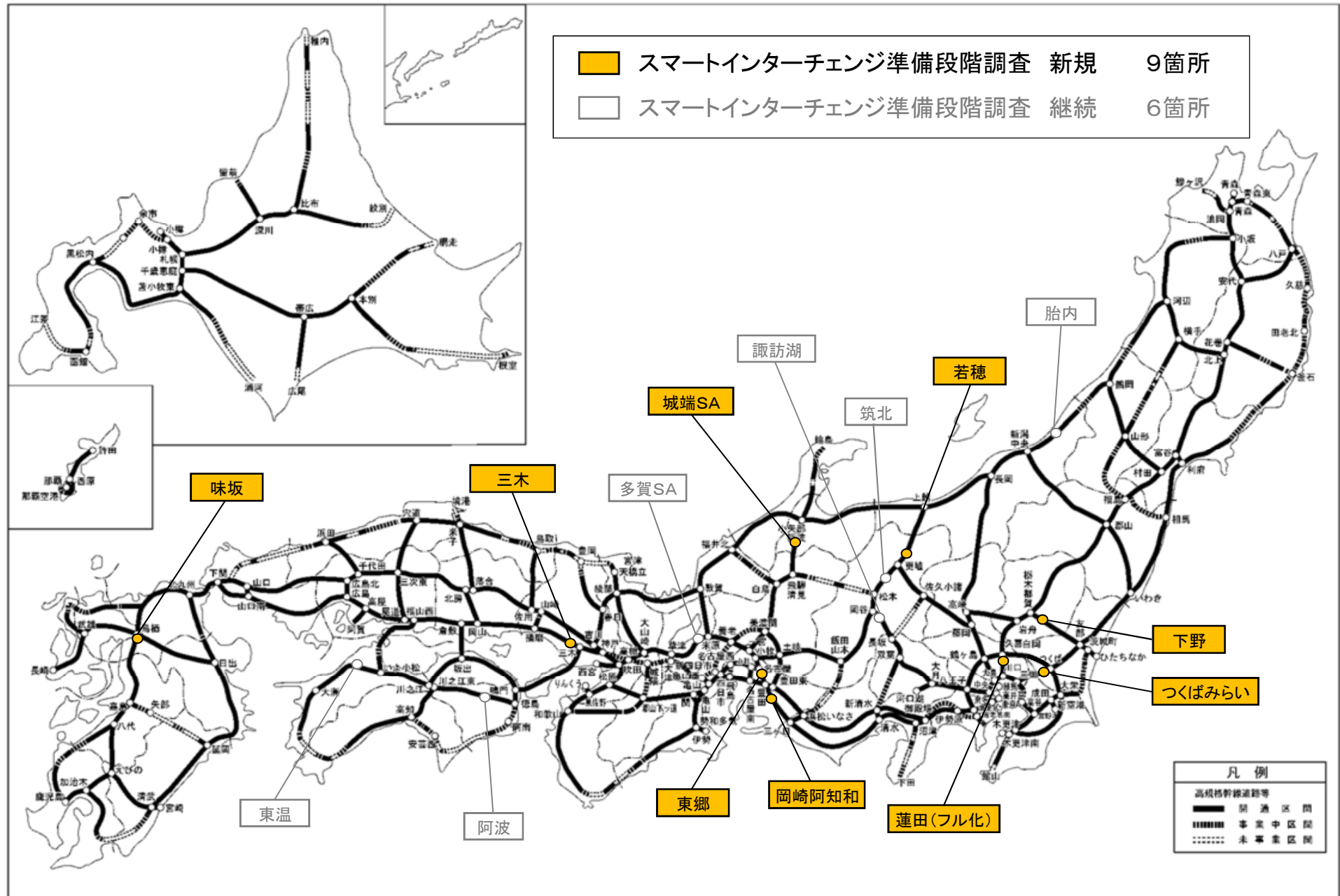
※1 スマートインターチェンジとは、高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリアから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、専らETCを搭載した車両が通行することを目的としたインターチェンジです。

※2 スマートインターチェンジの名称は仮称であり、正式な名称は、地元や利用者のご意見等も踏まえて決定されます。

※3 未開通のICは仮称です。

スマートインターチェンジ準備段階調査箇所図

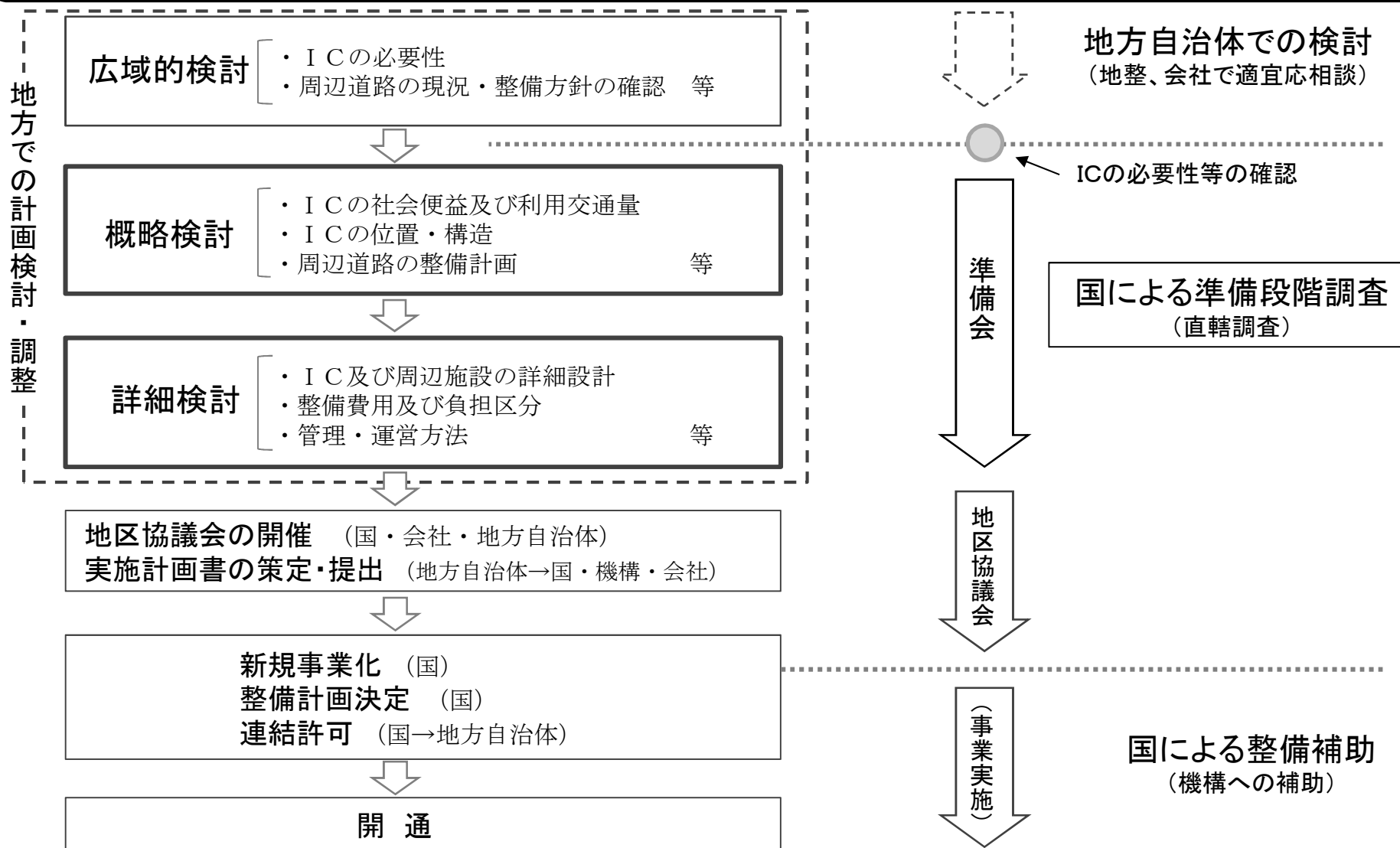
別添④



スマートインターチェンジの検討・整備について

別添⑤

- スマートICの準備段階（地方での計画検討・調整段階）において、国として必要性が確認できる箇所等について、箇所を選定し、国が調査（直轄調査）を実施（準備段階調査）。
- 準備段階調査における準備会での検討や調整が整い、関係機関で構成される地区協議会で決定された実施計画書が提出された箇所につき新規事業化。



すごう

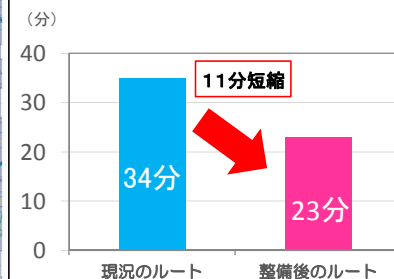
広域図

資料:民間プローブデータH28.4-9(平日12h平均)



(主) 岩沼蔵王線の状況 (村田町中心部)

資料：民間プローブデータH28.4-9（平日12h平均）



▲菅生地区から仙台市立病院までのアクセス時間

■圏央道 つくばスマートIC(仮称)

スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果③

別添⑥

■北関東自動車道 出流原PAスマートIC(仮称)

<概要>

路線名 : 北関東自動車道
 (佐野田沼IC～足利IC間)
 設置場所 : 栃木県佐野市
 接続形式 : SA・PA接続型
 形式 : 全方向 (4/4)
 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



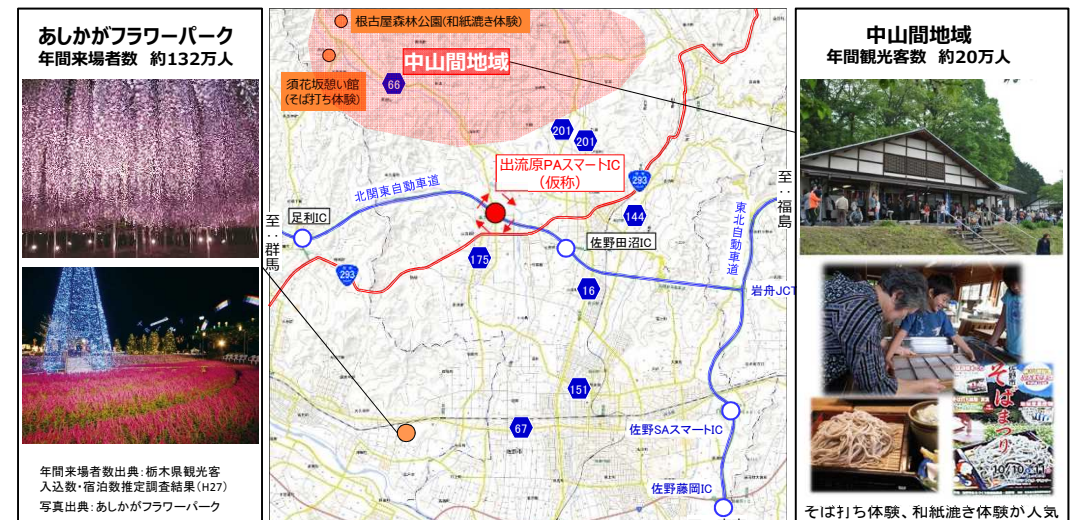
整備効果 産業振興

・出流原PAスマートICの整備により、周辺の工業団地等から一般道の渋滞を回避して高速道路へのアクセスが可能となり、新たに整備される物流・産業拠点への更なる企業誘致促進や雇用の創出など産業活動の活性化が期待される。



整備効果 観光振興

・出流原PAスマートICの整備により、観光施設や北西部の中山間地域へのアクセス性・利便性が向上し、観光振興に寄与する。

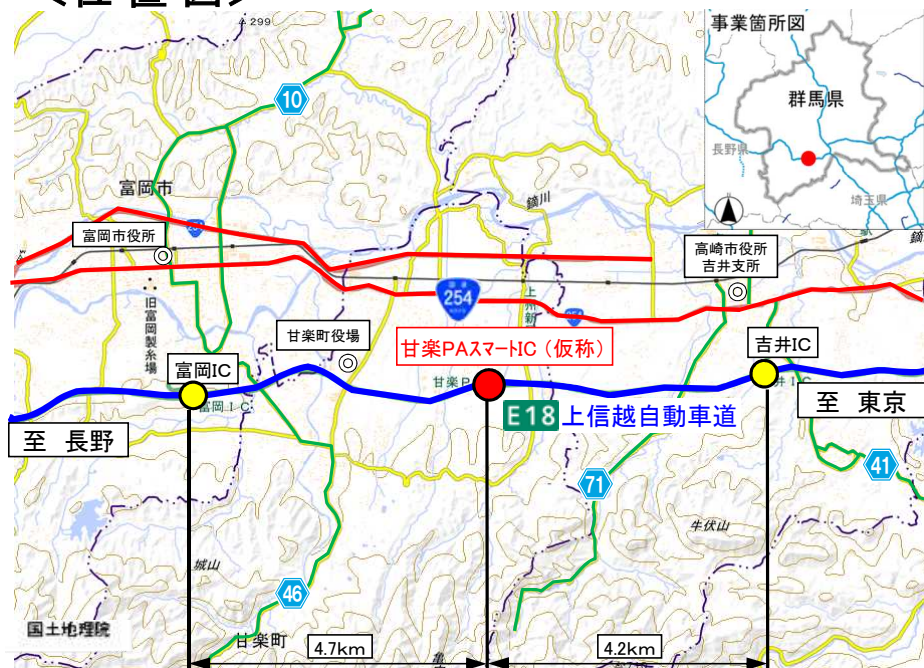


■上信越自動車道 甘楽PAスマートIC(仮称)

<概要>

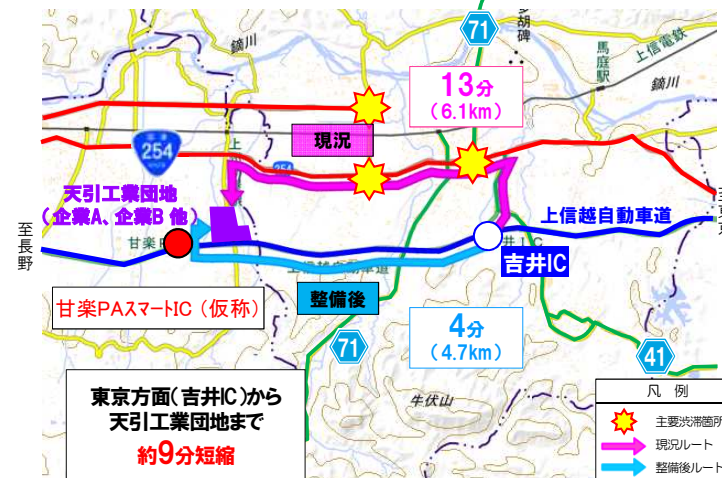
路線名 : 関越自動車道 上越線
(吉井IC～富岡IC間)
設置場所 : 群馬県甘楽郡甘楽町
接続形式 : SA・PA接続型
形式 : 全方向 (4/4)
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 物流効率化

- ・甘楽町は、国内トップクラスのシェアを誇る企業が存在する。
- ・甘楽PAスマートIC整備により、工業団地や周辺立地企業から、一般道の渋滞を回避し、高速道路への最短距離でのアクセスが可能となり、更なる企業誘致の促進、雇用の増大など産業活動の活性化が期待される。



【企業A】
大容量(300KVA以上)の無停電電源装置(UPS)の国内シェア75%

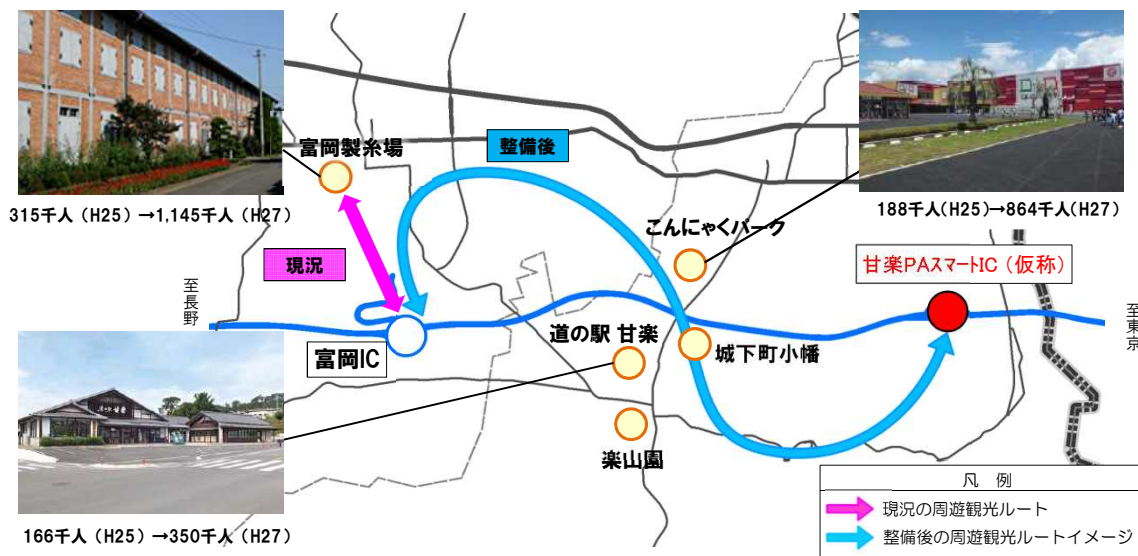


【企業B】
自動車部品や建設機械部品を製造(取引先は中部・東北地方)



整備効果 観光振興

- ・甘楽PAスマートICの整備により、新たな周遊ルートを形成し、観光産業の活性化が期待される。



伊勢湾岸自動車道 刈谷スマートIC(仮称)

<概要>

路線名 : 第二東海自動車道横浜名古屋線
(豊田南IC～豊明IC間)

設置場所 : 愛知県刈谷市

接続形式 : SA・PA接続型

形式 : 全方向 (4/4)

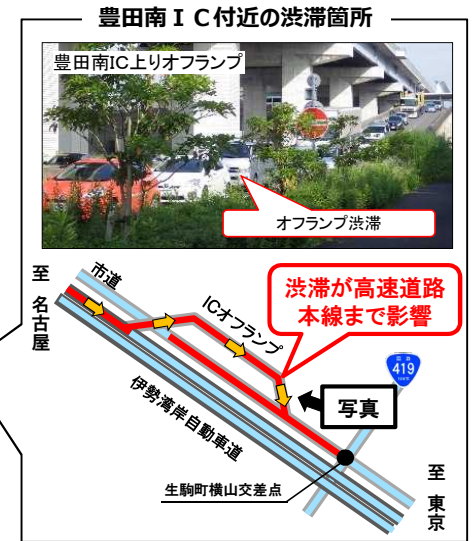
運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 交通分散による渋滞緩和

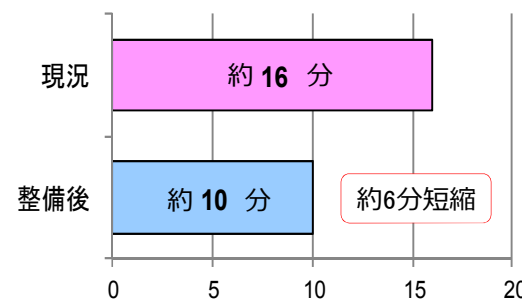
- 刈谷スマートICの整備により、交通の分散が図られ、主要渋滞箇所となっている豊田南IC・豊明IC周辺の一般道路や高速道路の渋滞緩和につながる。



整備効果 物流効率化・産業生産性の向上

- 刈谷スマートICの整備により、刈谷スマートIC周辺の自動車関連工場から高速道路までのアクセス時間が短縮し、物流効率化に寄与する

自動車関連工場から名古屋方面へのアクセス時間



■中央自動車道 神坂スマートIC(仮称)

<概要>

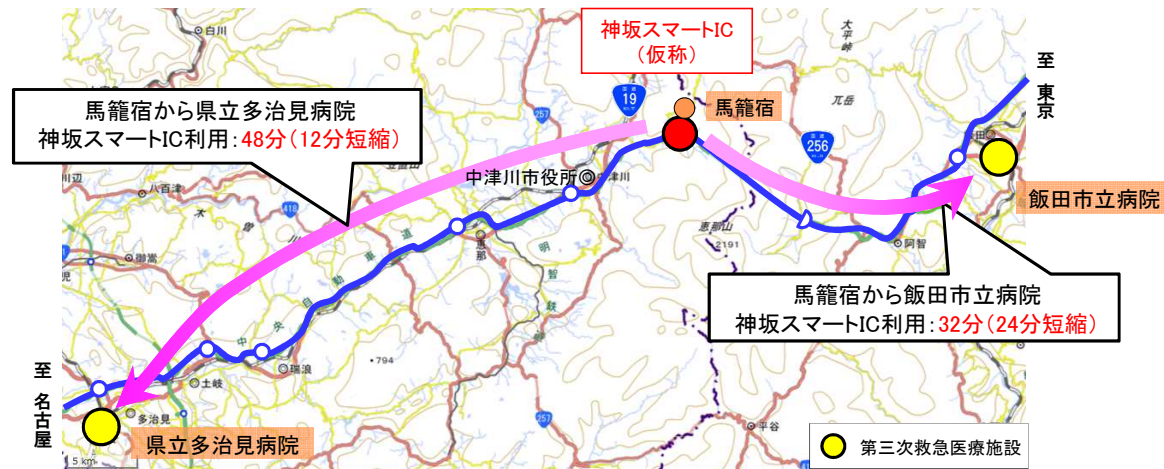
路線名 : 中央自動車道西宮線
そのはら なかつ がわ
 (園原IC～中津川IC間)
なかつ がわ
 設置場所 : 岐阜県中津川市
 接続形式 : SA・PA接続型
 形式 : 全方向 (4/4)
 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



整備効果 地域医療サービスの向上

- 神坂スマートICの整備により、第三次救急医療施設への搬送時間が短縮し、地域医療サービスの向上に寄与する。



整備効果 観光振興

- 神坂スマートICの整備により、中津川市を代表する観光拠点である馬籠宿や、妻籠宿などへのアクセス性が向上し、観光振興に寄与する。



スマートインターチェンジ新規事業化箇所の整備効果⑦

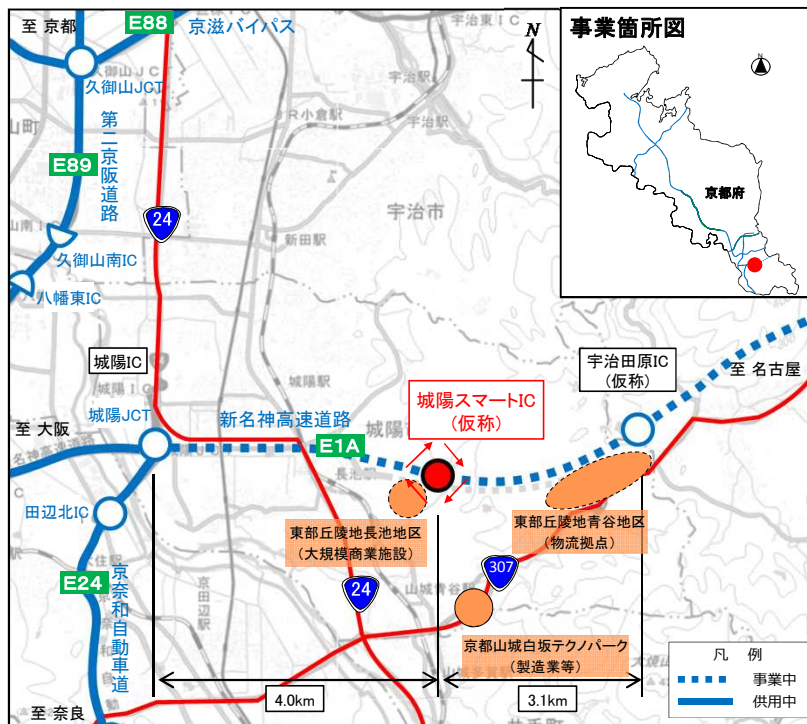
別添⑥

■新名神高速道路 城陽スマートIC(仮称) 整備効果 地域創生(企業立地促進)

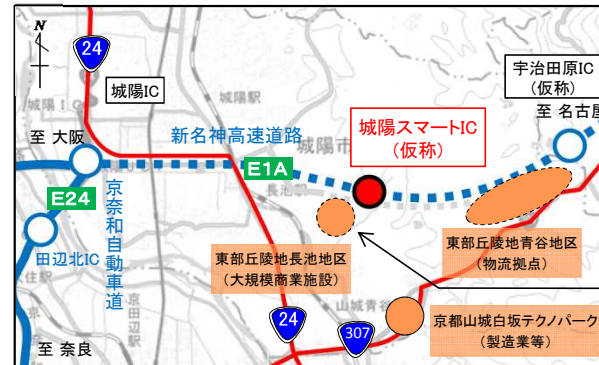
<概要>

路線名 : 近畿自動車道名古屋神戸線
 (宇治田原IC(仮称)～城陽IC間)
 設置場所 : 京都府城陽市
 接続形式 : 本線直結型
 形式 : 全方向 (4/4)
 運用形態 : 全車種 24時間

<位置図>



- 城陽スマートICの整備により、高速道路への所要時間が短縮し、京都山城白坂テクノパークや、今後、土地利用を図っていく東部丘陵地長池地区や青谷地区において、更なる企業立地の促進に寄与。



東部丘陵地長池地区における開発計画 (イメージ)



※三菱地所(株)、三菱地所・サイモン(株)報道発表資料 (平成29年5月)

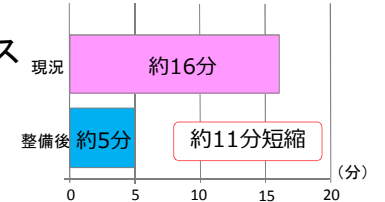
整備効果 観光振興

- 城陽スマートICの整備により、大阪方面から城陽市周辺の観光施設へ一般道の渋滞を回避したアクセスが可能となり、観光振興に寄与。

【効果例】城陽ICから木津川運動公園へのアクセス時間の短縮
 ○大阪方面 現況:約16分 ⇒ 整備後:約5分



大阪方面(城陽IC)から
木津川運動公園への所要時間



①城陽市総合運動公園 来訪者約17万人
(ライトアップイベント開催期間)



②木津川運動公園 来訪者約7万人/年

■松江自動車道 加茂BSスマートIC（仮称）

<概 要>

路線名：中国横断自動車道尾道松江線
（三刀屋木次IC～宍道IC間）

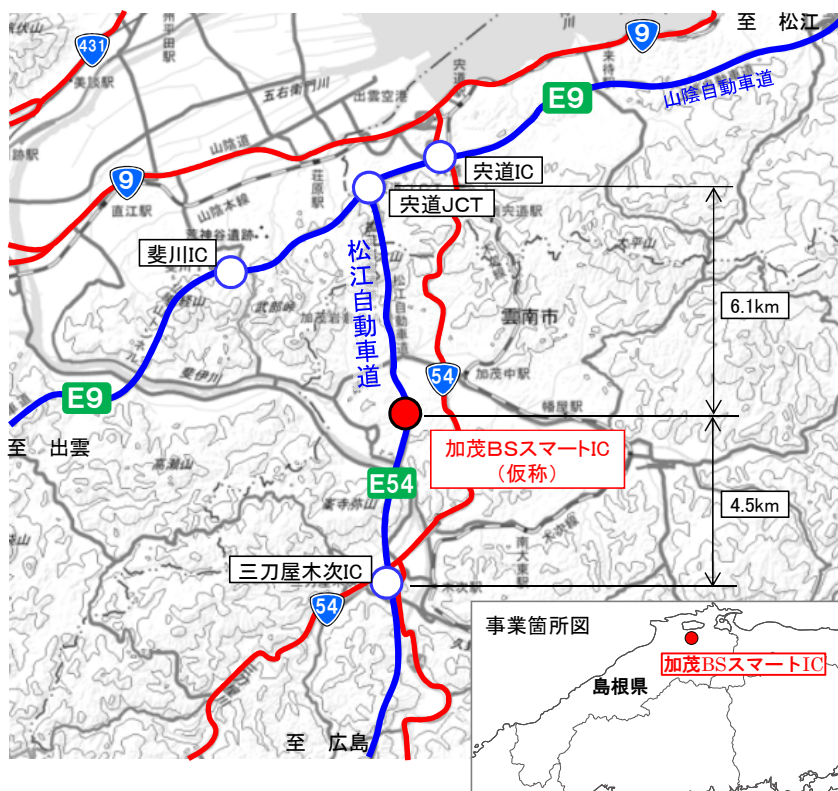
設置場所：島根県雲南市

接続形式：本線直結型

形式：全方向（4/4）

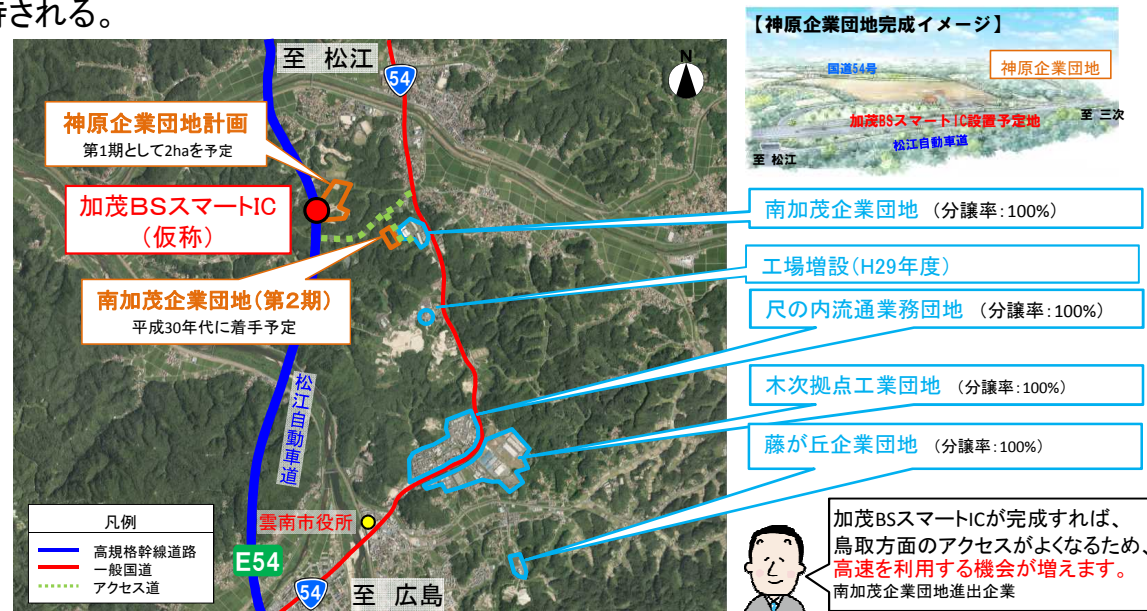
運用形態：全車種 24時間

<位置図>



整備効果 産業活動の支援

・加茂BSスマートICの整備により、直結する神原企業団地や周辺の団地への企業誘致の促進や既存の企業団地からの物流の効率化など、産業活動の活性化が期待される。



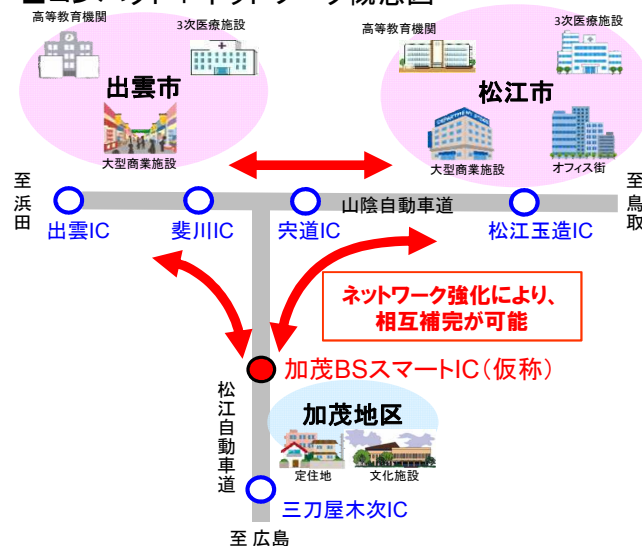
整備効果 コンパクト＋ネットワーク構築による定住促進

・加茂BSスマートICの整備により、松江市・出雲市とのネットワークが強化され、住宅団地・教育施設・文化施設・生活関連施設等がコンパクトに集積する“加茂地区”の利便性が向上し、更なる定住促進が期待できる。



写真：加茂地区の住宅団地

■コンパクト＋ネットワーク概念図



さかいで きた

事業箇所図

香川県

[illegible]